2007 年 9 月 3 日
野村不動産ホールディングス株式会社

報道関係者各位

野村不動産インベストメント・マネジメント
近隣商業施設特化型ファンド「SMILE コミュニティ・ファンド」組成
～商業施設セクターへの投資を拡大～

当社の関連会社である野村不動産インベストメント・マネジメント株式会社（本社：東京都新宿区西新宿、以下 NREIM 社）は、1,000 億円規模の近隣商業施設特化型不動産私募ファンド「SMILE コミュニティ・ファンド」を組成し、9 月より運用を開始致しました。

NREIM 社は、中長期の安定運用を目指すコアファンドである、SMILE(Stable Mid-to-Long term Equity fund)シリーズのファンドとして既に 3 本のファンドを運用しており、本ファンドはその第 4 弾となります。

本ファンドは、コミュニティの名の通り、住宅地または住宅地を後背地として、地域社会に根付く安定した商圏を確保できる地域に立地する商業施設を投資対象としております。近隣商業施設で扱われる日用品に対する需要は景気・流行に左右されにくいため、潤沢な商圏人口とその生活需要に支えられた安定的なリターンが期待できます。物件選定においては、三大都市圏および政令指定都市を中心に、総合・食品スーパーマーケットやドラッグストア等日用品専門店、自動車販売店、家電量販店などの生活需要品を扱うテナントが入居し、中長期的に安定的な成長の期待できる優良物件を選定し、投資してまいります。

NREIM 社では、昨年より運用しております、都心型商業施設特化型の「SMILE リテール・ファンド」と、今回組成いたしました「SMILE コミュニティ・ファンド」を併せて 2,000 億円規模の商業施設特化型ファンドの運用を行なうことになりますが、今年 7 月 2 日に新しく野村不動産グループの一員となった、商業施設に関するコンサルティング大手の株式会社ジオ・アカマツのノウハウを活用し、今後も商業施設セクターへのさらなる投資の多様化・投資規模の拡大に積極的に取り組んで行く予定です。

野村不動産グループでは、野村不動産投信株式会社がオフィスビル特化型リートである「野村不動産オフィスファンド投資法人」、賃貸住宅特化型リートである「野村不動産レジデンシャル投資法人」の資産を運用しており、NREIM 社が既に運用している物流施設特化型ファンドをあわせ、『オフィス』、『賃貸住宅』、『物流施設』、『商業施設』と 4 セクターのアセットクラスを中心としたファンド運用を展開しています。
2009 年度までに運用資産残高 1 兆 5,000 億円の達成を目指し、今後とも投資家の多様なニーズに合致した投資機会を提供してまいります。

（＊近隣商業施設とは、住宅地又は住宅地を後背地とする地域に立地し、これら住宅地に居住する人々が主な消費者である商業施設で、主として飲食料品や自動車、家電等の販売店舗、フィットネス等のサービス施設をいいます。）

以 上

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ホールディングス株式会社　広報 IR 部（片山・石川）
TEL03－3348－8117・FAX03－3343－0445